

新庁舎の 基本設計

がまとまりました

☎資産活用課 ☎36-7169



完成イメージパース図（庁舎西側）

市民の安全・安心を支える庁舎、利用者にやさしい庁舎を目指して

昨年5月に策定した「島田市新庁舎整備基本計画」に基づき、市では新庁舎建設工事の基本設計を進めてきました。この度、パブリックコメントの募集を経て、これまで検討を重ねてきた新庁舎の構造や規模・配置、備えるべき機能や設備の水準を具体化した「島田市新庁舎建設基本設計」を取りまとめましたので、概要をお知らせします。

■新庁舎の概要

【延床面積】

1万1450㎡
(別に北別棟500㎡あり)

【構造種別】

鉄筋コンクリート造、免震構造

【規模】

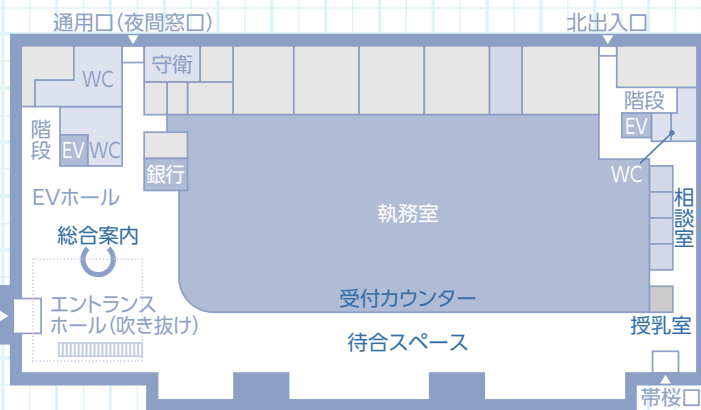
地上4階

■配置計画

- ◎新庁舎は、既存庁舎東側（現駐車場）に建設
- ◎駐車場は、プラザおおると共用するため、敷地西側に整備

■フロア計画

- ◎1階には、市民の利用が多い窓口を集約配置します。
- ◎来庁者の個人情報やプライバシーの確保に配慮した相談室や、間仕切りのある窓口カウンターを整えます。
- ◎来庁者の利便性・快適性向上のため、キッズスペースや授乳室を設けるとともに、トイレの機能の充実を図ります。
- ◎2階から上層部は、執務室を南北に配置し、共用部から見通しの良い空間とすることで、市民サービスの向上と事務の効率化を図ります。
- ◎フロア中央の階段を設けることで、移動距離を短縮し自然通風を確保します。
- ◎防災対策の連携を高め、迅速に対応できるように、危機管理関連機能を集約配置します。
- ◎議場の傍聴席は、一般席と車いす席のほか、防音対策を施した



親子傍聴席を設置します。

↑フロアゾーニング図（1階）

フロアの東西に階段やトイレなどを集約配置し、中央に執務室を配置した「両端コア型」のフロア配置とします。

■概算事業費

合計87・1億円

【内訳】調査設計関連費用（測量・地質調査、設計・監理など）6・2億円▽建物工事費用（新庁舎建設工事費）69・3億円▽外構解体工事費用（外構工事、解体撤去工事費など）7・1億円▽その他の費用（移転、備品など）4・5億円

■建設工事スケジュール

年度	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6
設計	基本設計・実施設計					
0期			附属建物一部解体			
1期			新庁舎・北側別棟建設・旧庁舎解体			
2期						外構整備
敷地	北側敷地	既存解体	詰所新築			